

第219号

発行日：2017年12月1日

発行人：神立秀明

〒950-2172 新潟市西区内野上新町11810番地3

TEL 代表(025)264-5000

FAX(025)261-4430

在宅ケアセンターゆうばえ内



夕映えの会

地域でささえあう

住民の声

次の世代と力を合わせ

地域の社会資源を生かした

新しいまちづくりを



新潟西商工会

会長

塩川 英男

(内野町一番町)

商工会は、地域事業者が会員となり、ビジネスやまちづくりのために活動を行う総合経済団体です。「商工会法」に基づいて設立され、全国の市町村に1671（平成26年8月現在）の商工会があり、約85万の事業者が加入しています。

新潟県内には103の商工会がありますが、私どもの新潟西商工会のコード番号は001です。沿革を少し紹介しますと、昭和17年に任意団体として発足、昭和35年に法定団体として内野町商工会が設立されました。

新川開削以来の賑わいと五十嵐浜漁港からの豊富な水揚げがこの町を

潤し、最も早い商工会設立につながっています。また昭和61年には新潟西商工会として発展改称いたしました。が、関屋分水以西の街並み発展の姿を写しているようです。

歴史と伝統ある7代目の新潟西商工会会長を仰せつかって5年目を迎えました。先輩諸氏のご指導をいただきながら、公職を務めさせていた

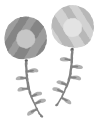
だいております。さてこの間の内野町の町づくりを振り返る時、「内野まちづくりセンター」のオープンは画期といえる事業ではないかと思えます。西区役所西出張所と地域保健福祉センターとの複合施設であると同時に住民が集える文化施設がこの町に誕生しました。私も内野・五十嵐まちづくり協議会副会長として心から施設の誕生を喜んでいきます。

まちづくりセンターを拠点にして、たくさんの方の文化サークルや団体が活動を始めています。人々が集うところには活気が生まれます。私も商工会の活動は、会員の経営改善普及を基本に地域の「総合経済団体」として、また中小企業の「支援機関」として、経済活動を通じた元気な地域づくりなどに取り組んでいます。

7月には、子どもたちに夜店の楽しみをと「夜店まつり」を開催しました。大変な賑わいで、まちづくりセンター駐車場が溢れかえりました。8月には「うちのDEビアガーデン」さらに10月には「うちのDE月見酒」が内野まちづくりセンター内外で開催されました。どこにこんな子どもがいたんだと思うくらい、たくさんのお子さんとパパ・ママたちが集まってきてくれました。青年部を中心とした商工会のこうした取り組みに、私は確かな手応えを感じます。

足元だけを見ていると、廃業による退会が続く、くしの歯が抜けるように商店街が空洞化する現実に突き当たります。また往年の生気あふれる内野の市を知る方の嘆きも聞こえてきます。しかし昔を懐かしむノスタルジーではなく、前にすすむことこそが内野町に必要なことではないでしょうか。

介護事業所が子どもたちを大事にするように、商人もまた人々の暮らしの安穩を考える時でしょう。その先に町の活性化や町おこしがある、私はこう確信します。幸いにこの地域には新潟大学と新潟国際情報大学、さらに西区自治協議会など素晴らしい社会資源があります。次の世代と力を合わせ、これらの社会資源を総結集する中で、新たな発展が開かれていくと考えます。新潟西商工会もまた、そうした連携の輪の中に居ることができたなら望外の幸せです。



お家で役立つ感染症予防

結核・インフルエンザ・ノロウイルス



訪問看護ステーション ゆうばえ ゆうえい会 感染対策委員長 筒井 順子

結核が高齢者に増えています

「咳が止まらない、微熱が続く」かぜに似た症状ですが、「食欲がなくてだるい、いつもと違う」こんな時は迷わず医療機関を受診しましょう。特に80歳代の方は、若い時に結核を患った方も意外と多いようです。中央区で高齢者の結核感染が認められていましたが、最近では西区内でも出始めています。

インフルエンザ、予防は？

北風小僧がやってくるインフルの季節ですね。インフルエンザワクチンの予防接種はお済でしょうか？ ワクチン接種は、発症の可能性を減らし、発症しても重症化を防ぎます。

インフルエンザにかからないためには、感染の経路を断つことが要です。それにはマスクの着用がとても有効です。帰宅時や食事前の手洗いも、この時期欠かせません。免疫力を高めることも大事な

ことです。十分な睡眠とバランスのとれた食事で免疫力を高めましょう。

最強のノロウイルス

冬場の最も怖い感染症です。ノロウイルスは食物を介して感染したり、ヒトからヒトへと伝播します。また汚染した環境表面に接触しても感染が広がります。

特に怖いのは熱やアルコールに強く感染力が強いことです。少量のウイルスでも感染しますし、一度かかっても何度でも感染します。以下のことに注意しましょう。

- ① 手洗いを頻回に行なう。
 - ② 果物と野菜は丁寧に洗う。
 - ③ カキは食べる前に蒸す。
 - ④ 汚染した表面は漂白剤などで徹底的に処置する。
 - ⑤ トイレの嘔吐物や便は洗い流して、周囲を清潔に保つ。
 - ⑥ ノロに感染した人は3日間、は食事をとらない。
 - ⑦ 感染者は1日から3日は学校や職場に行かない。
- ノロウイルスの家庭用消毒の方法
嘔吐物など…500mlペックボトルにキャップ2杯のハイターに水を加えて使います。

「健やかシニア」してきます！

第46回 豪華道関にハラハラ・ドキドキ！ 年に一度の大相撲観戦を楽しんで

佐久間 恵子 (五十嵐西)



昭和9年生まれ、83歳となりました。新潟地震後に造成された平和台団地に主人ともども移

住してきました。造成したばかりの団地は、風が吹けば砂嵐。サツシの隙間から砂が入り込んできました。生真面目で律儀な夫と二人三脚の暮らしでしたが、今となれば懐かしい思い出です。息子の結婚を機に、息子夫婦との暮らしを続けています。二世帯が同じ屋根の下にいるのはあまり聞かなくなったことですが、わが家ではずっとそうしてきました。私はお腹にためておくより喋ってしまう方ですし、嫁もさっぱりした朗らかな人で幸運でした。孫たちが生まれて育つていく様子を見ながらの舅の暮らしです。主人が10年ほど前に他界して以後孫含めた4人暮らしの毎日、私の家での仕事は留守番と簡単な食事づくりくらいでしようか。

今年、私は大変寂しい思いをしました。隣家のお友達が体調を崩し入院してしまつたことです。家を建てて以来の長いお付き合い

さ合のお友達、人生の折々に相談したり、されたりの間柄でした。幸い、体調は回復して今は近くのショートステイに入所している彼女を時々見舞うことが私の楽しみです。さて私は大相撲の大ファンです。実は十数年前に、娘夫婦が両家の夫婦を招待してくれたのです。以来私は大相撲のやみつきになりました。お嫁さんから升席券を取ってもらい、二人で年に一度、両国国技館での大相撲観戦を楽しんでいます。

私のひいきは豪華道関です。強くて大きい外国人力士もいますが私は判官びいき、やはり日本人力士ですね。ちなみにお嫁さんのひいきは遠藤関。あちらは大学出の二枚目力士、わか

らないでもありません。でも大相撲は、テレビで見ると場所で見るとは大違いです。立ち合いで力士たちがガツンと当たり合う音、バシバシと響くツツパリの音。まじかに見る力士たちの肌の艶っぽいこと！血沸き肉躍るとはこのことです。(笑)ハラハラ・ドキドキの豪華道関から自分目が離せません。





認知症の人とともに生きる

公益社団法人 認知症の人と家族の会
新潟県支部 副代表 等々力 務

第十一話 『介護職員不足 更なる懸念が』

某福祉専門学校にお招き頂き、介護福祉学科の一年生に「介護家族の気持ち」の講義をしました。昼食後の眠くなりがち時間帯にも関わらず、生徒の皆さんは居眠りせずに話に耳を傾けてくれました。講義後、何名かの生徒からは質問をされ、熱心さが伝わってきて、嬉しい気持ちになりました。

しかし、昨年の生徒数は十名ほどという少なさでした。先生によると、「ご覧になられた通りで生徒数が少なく、残念ながら今回で介護福祉学科の募集を中止することになってしまいました。国から『質の高い介護福祉士の養成を』という声を受けており、その声に応えようと精一杯頑張ってきましたが、我々の力不足でした」と肩を落とされました。先生方や働いている職員の方々は、どんなに無念で辛い気持ちだろうと考えると、胸が苦しくなりました。言うまでもなく、働く場が無くなることは、生活の糧を失うことに繋がります。

私は、決して学校や先生方の努力が足りなかったのではないと思います。先生方とのやりとりでは、誠実さや生徒への思いやりなどがよく伝わってきました。

せっかく介護の道を志そうと思った人でも「きつい仕事のわりには給料が少ない」「介護職は離職率が高い」などの声があふれていると、二の足を踏むと思います。介護福祉学科の生徒募集の打ち切りは、介護職員の不足という深刻な問題に更に拍車を掛けるものであると強い懸念をもっています。介護職員不足の対策として、外国人を登用することや、介護ロボットの導入などの記事を目にしますが、私としては諸手を挙げて賛成とは言い難いです。

これまで我が国を支え続けた、大先輩であるお年寄りの皆様の人生の最終ステージを支えるという大事な仕事なので、このような現状は大変残念です。

生活支援活動 半期の報告（4月～9月）

いろいろなお仕事があるものですネ!



夕映えの会

会長 神立 秀明

夕映えの会では介護保険外のお助け生活支援活動を行っています。4月から9月までの半期の概要をお知らせします。

生活支援の述べ利用者数は182名、利用延べ件数は729件でした。毎月の利用者はおおむね30人ほど、件数では120件ほどです。

半年間でこうした生活支援活動に関わったボランティアは16名でした。

半期の特徴は、生活の様々な場面でのご要望が多岐にわたっていることです。お庭の草木が繁茂する夏場には草取り・剪定などが多くありました。特にお盆を迎える8月には、盆礼の来客に備えてお庭の草取りや繁茂した庭木の始末など外仕事が多くありました。

私たち夕映えの会の生活支援活動は、地域の中の助け合い活動です。これから年末・年始をむかえます。お家のお掃除はじめ障子貼りや仏壇・仏具のお掃除や神棚の飾りつけなど新しい年を迎えるために大忙しです。また雪や風雨の備えも大事な仕事です。「こんなことで困っている、こんなことは無理かしら？」とお悩みの前に、お気軽にお問い合わせください。

引き続き夕映えの会の生活支援活動をご利用ください。

専用ダイヤル 070-4314-3980

- ① さつまいもは皮を剥き、5cmくらいの長さに切って縦に6等分に切り、水にさらす。レモンは放射状に切る。
- ② 鍋で油を中火で熱し、手羽中を焼き目がつくまで焼き、さつまいもは水気を切ってから鍋に加えて炒める。
- ③ 水1カップを入れて煮立ったら、Aとレモンを入れる。
- ④ 落し蓋をして、汁気が3/4くらいになったら蓋をはずし、鍋を時々ゆすって汁気がなくなるまで煮たら完成。

〈作り方〉

- ・ さつまいも 200g
- ・ 鶏手羽中 6本
- ・ 酒 大さじ1/2
- ・ みりん 大さじ2
- ・ しょうゆ 大さじ1と1/2
- ・ レモン 2枚

「さつまいもと鶏肉のレモン醤油煮」
レモンにはクエン酸が多く含まれていて、疲労回復効果があります。またビタミンCの含有量は柑橘類の中でもトップクラスで、免疫力を高める効果や、ストレス対策にも役立ちます。



ゆうえい会
管理栄養士
大屋 綾佳

大屋さんの
ご飯ですよ〜!

2017 **12** 事業所からの お知らせ

◆デイサービス

●白倉様のフェルト講習を毎週木曜日おこなっています。

●お抹茶の会

とき 12月5日(火)

●三浦洋服店移動販売

とき 12月6日(水)

●いっぺこと歌おいね

とき 12月23日(土)

◆小規模多機能・ゆうばえの家

●3分間癒しタイム始めました。

●大正琴の調べ

とき 12月12日(火)

●地域のお茶の間 クリスマス会

とき 12月22日(金)

◆ショートステイゆうばえの里

●歩行訓練表を掲示しました。利用者さんに声をかけて下さい。

●スターバックスコーピー

とき 12月12日(火)

●クリスマス会

とき 12月21日(木)

●民話・語り部

とき 12月25日(月)

◆ケアハウスゆうばえの里

●入居者様の一日の始まりは看護師とのラジオ体操から。

●出前ラーメンの日

とき 12月2日(土)

●クリスマスフルートコンサート

とき 12月24日(日)

●忘年会

とき 12月28日(木)

地域の皆さまのご来所をお待ちしています。一緒に楽しみましょう。

職員募集

介護職員 (常勤・非常勤)

・ショートステイ

「ゆうばえの里」

常勤：夜勤のできる方

非常勤：日中の介護と送迎

勤務時間をご相談に応じます。

・厨房パート職員急募

朝6時から夜7時30分まで

6時間または8時間働ける方。

時給 840円

お時間はご相談に応じます。

お問い合わせ

TEL 264-5000

吉田まで

お気軽に
お問い合わせ
下さい。



肉野うたごえの和合唱団inケアハウス

ショート・デイサービス・ゆうばえの家からも参加者が **11月16日** 多数、混声合唱にうっとりしました。また来てください!



ゆうばえ歌壇

今日も又何時もの席で待つ夫の
病衣の背中どこかさびしく

家を恋う思いががよく何度でも
退院を聞き困らせる夫

かさこそとわくら葉の舞う庭先を
明るく照らしつわぶきの咲く

今月の投稿者

五十嵐中島三丁目

茜峯様



連絡先一覧

ゆうえい会配食部

☎ 070-4453-5228

(担当：小島明日枝)

夕映えの会生活支援

☎ 070-4314-3980

(担当：神立秀明)



ご寄付お願いします

・古いタオル・シーツ

ショートステイ
デイサービス

ご寄付ありがとうございます。引き続きご寄付をお願いします。

編集後記

一年の締めくくりに念願がなつて新潟西商工会の塩川英男会長に登場いただき、事務局長さんともども商工会の取り組みを教えていただきました。「社会資源を生かし切る新しいまちづくり」とは至言だと思えました。農林水産業、商工業、交通問題を扱う西区自治協議会第3部会を取り仕切る見識の高さと拝察しました。平和台団地の佐久間恵子さんからは飛砂とのたたかいた楽しいお相撲のお話をお聞きしました。さて、この一年間に紙面に登場していただいた皆様にご感謝申し上げます。今後も地域に暮らす皆さんとともに、紙面を作っていくたいと思います。来る年が皆さんにとって素晴らしい年でありますように。(M記)